

# 動労千葉

86. 1. 11

No. 2137

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二七二〇七

# 確認 第二波闘争の 不当処分粉碎 61・3ダイ改阻止の

## 代支部5回

### 仕業移管攻撃に対し、ストも含む全ゆるる手段で反撃

動労千葉は、一月九日、第五回支部代表者会議を開催し、第一波闘争の切り開いた地平を確認するとともに、不当処分粉碎、「61・3ダイ改」阻止を中心とする第二波闘争の貫徹に向けた当面する取り組みについて次のとおり確認した。

腹をすえ、組織破壊攻撃粉碎  
首切り阻止へ決起しよう

国鉄当局は、年金改悪に対応することを口実に、今年度特退を「三月一日付」発令とする人事移動を二月早々にも実施しつつ、「61・3ダイ改」を強行しようとしている。

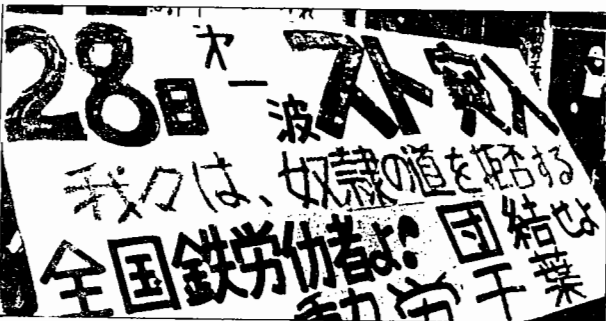
とりわけ千葉局管内については、不当処分と東京三局への業務移管をセットにした動労千葉への組織破壊攻撃を露骨に強行せんとしている。

「処分だけでは動労千葉をつぶせない」ことを自覚した政府・当局の本格的組織破壊攻撃に対し、われわれも又、腹をすえなおすとともに、いよいよ十万人首切り阻止に向けた具体的・個別的闘争へ総力で決起しなければならない。

その最大のカギが「三月ダイ改」阻止闘争であることを見すえ、不当処分粉碎と「61・3ダイ改」阻止を結合した第二波の闘いを大要次のように展開することとする。

当面する取り組みについて

- 1、闘いの目標  
不当処分粉碎、国鉄「分割・民営化」阻止、十万人首切り合理化、「61・3ダイ改」阻止、「業務移管」反対、運転保安確立、検修合理化反対、国鉄関連法案上提反対。
- 2、不当処分通告に対する闘い  
① 通告書の受け取りを拒否し、直ちに職場集会・区長抗議を各職場で取り組む。  
② 関係支部は、弁明弁護の体制を確立する。  
③ 本部・関係支部の連絡体制を密にし早急に公開闘争の手続きを進める。  
④ 具体的な抗議闘争の戦術は執行委員会で決定する。
- 3、「61・3ダイ改」阻止の闘い  
① 一五四名の要員削減計画阻止へ向けた取り組みの強化。  
② 総武緩行・快速・我孫子線に対する仕業移管攻撃粉碎の闘いについては、A・Bダイヤ提案



▲勝利への一大血路を切り拓いた11月第一波スト

- 1 線見ー三月三日移行などの節をとらえ、あらゆる戦術を駆使して闘う。
- ① 要求の整理、申し入れの作成、検修・動乗勤対策委を開催し、団交で当局を徹底追及し、攻撃の意図を暴く。
- ② 大宣伝戦を展開し、国労千葉をはじめとする全国の国鉄労働者・全労働者人民の決起を呼びかける。
- ③ 当局が線見を強行している時は、不当処分粉碎闘争と結合した線見阻止闘争を実施する。
- ④ 線見阻止闘争は、指名ストも辞さない決意で臨む。戦術の細部は執行委員会で決定する。
- 4、各支部は、以上の闘いへ向け、支部執行委員会、職場集会、個別オルグを早急に開催することとする。
- 5、その他  
① 京葉線の労働条件確立へ向けた闘い。  
② 年金法改正に対する取り組みー高令者に対する説明会を一月末目途に開催する。  
③ 裁判闘争の強化  
④ 全支部で一月末～二月中旬を目途に家族総会または懇談会を開催し、未結成支部は二月中に結成できるよう取り組みを強化する。  
⑤ 全国オルグ団の結成  
委員長を団長に、「一億円基金」達成や闘争の全国的な交流・発展を全面的に促進する。  
⑥ 一月十一日団結旗開きを大成功させる。